



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

人口減少対策

Q オルレコースをどのように発展させ、交流人口の拡大を図るかが大切。南島原市のコースと連携しながら宿泊型の観光客の増加へとつなげていただきたい。

A 南島原コースと連動して宿泊し、温泉や湧水にふれて島原半島を楽しんでもらい、交流人口の拡大につなげたい。

Q 企業誘致の現状と具体的な成果は？今できることを積み重ねていく事が大事だと考えますが？

A 島原にゆかりのある人脈を通じて企業訪問などを行っている。ITベンチャー企業の誘致は一朝一夕ではできないので人脈を通じた誘致活動に努めたい。

Q ふるさと納税では、物の返礼品だけでなく、メンタル的な満足を返礼品とした寄付を頂いている事例もあるので参考にしたい。

A 物の寄付で税額控除を受けられる好事例を示してもらった。また、

物ではない返礼がふるさと納税の原点なので、大変参考になる。

安心安全なまちづくり

Q 高潮対策の埋立予定地、締切堤防の住民への周知が不十分ではないのか？

A 工事の期間と概要を町内会の回覧で知らせているが、今後は詳細な内容も回覧等で周知したい。

Q 高潮対策警戒時期の周知が必要だと考えますが？

A 現在は高潮のおそれがある場合、チャラシ配布や消防団による警戒を実施。今後は満潮時の潮位5メートル以上が予測される場合、啓発用チャラシや防災無線でも周知したい。

Q イオン、中央公園間に横断歩道の設置を。

A 警察と協議したが、2ヶ所の横断歩道が近くにあり難しいとのことだが、再度、要望は伝えたい。イオンの建て替えに伴い市道を南側へ付け替える場合は、一連の将来構想の中でも十分検討したい。

【その他の質問項目】

◇防災メールの普及について

◇道徳教育について

◇教職員同士の連携について



平成会
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

空き家と空地

Q 取組状況は。

A 市内の空き家数は552件。空き家バンクは21件登録で、そのうち12件成約。老朽危険空き家除却支援事業の紹介等を実施。

Q 空家等対策協議会について、①実施状況は。②機能していないのは。③成果は。

A ①平成29年度は3回、30年度は1回、本年度は未開催。②29年度は空家等対策計画を策定、30年度は特定空家決定に関する意見を伺っている。③相談窓口の設定、空き家情報等のデータベース化、危険空き家除却事業を33件実施。

Q 課長、係長を責任者にして空家対策を進めるべき。

A 民間の方々にも協力をいただけるようなチームをつくり、提案等をしていただき結論を導くことが実効的。検討したい。

Q 高齢者のみの世帯数は。

A 市の全世帯数は1万6970。

単身高齢者世帯数は2298、高齢夫婦世帯数は2347。

Q 通学路沿いの空き家等の把握は。

A 詳細に把握できていなかった。関係部署と連携し、学校と情報を共有した。

Q 本市の人口減少の推移は。

A 令和2年は4万3426人、令和27年は3万1406人と推計。

地域おこし企業人

Q 総務省が推進しているが、採用の検討は。

A 平成30年度で56自治体が活用。本市は内閣府の制度を活用した。

Q なぜ取り組まなかったのか。

A 今までは国とのつながりが大きな目標。今後は民間活力の活用を念頭において考える。

Q 本市は民間企業に職員を派遣しているが、財政支援がある取り組みをすべき。企業のノウハウを取り入れる努力をしてほしい。

A 民間の方々へのいい経験値を本市に取り入れさせていただきたい。

【その他の質問項目】

◇舞岳山荘を利用した英語の勉強会について

◇土地開発公社について